

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 **新** デジタルブック・ライブラリー整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111 (内 291)

E-mail：[c21803@pref.gifu.lg.jp](mailto:c21803@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 補正要求額 10,000千円 (現計予算額 0千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その 他	県 債	一般 財源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額	17,000	17,000	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、直接の来館制限がかかる中、在宅にて非対面・非接触により利用可能な電子書籍の需要が増してきている。

新しい生活様式への定着が進み始めている中、在宅・在勤で利用できる図書館サービスの整備が喫緊の課題となっている。

現段階では、絶対的なコンテンツ数が不足しており、一層の利用を促進するためには、魅力ある電子書籍の収集を図っていく必要がある。

## (2) 事業内容

新型コロナウイルス感染症を契機とした電子書籍に対する需要の一層の高まりに対応するため、幅広い分野のコンテンツ約1,500点程度を追加購入する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県が設置運営する施設であるため県の経費負担は妥当

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	(千円)	事業内容の詳細
使用料及び賃借料	10,000	電子書籍の調達

### 決定額の考え方

既定経費対応分を本事業に加え、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

## 4 参考事項

### (1) 後年度の財政負担

電子出版物は出版市場の約 24% (400 億円) を占めるまでに急成長しており (2020 年実績)、今後も紙媒体資料と並行し電子書籍 (デジタルブック) の収集が必要となる。

令和 3 年～5 年度は、紀伊國屋書店学術電子図書館「KinoDen」から、各分野の専門書を中心に約 9,000 点を整備し、令和 5 年度までに 1 万点以上のコンテンツからなる「デジタルブック・ライブラリー」を構築する。

令和 6 年度以降の収集計画については、出版市場や社会情勢を注視した上で、「第 3 次 岐阜県図書館の運営方針」(令和 6 年度策定予定) を策定し、電子書籍の収集方針を定める。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
来館が困難な県民への情報提供を目的に、令和5年度までにデジタルブック（電子書籍）を約10,000点整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
収集コンテンツ数	1,775 (R2)	—	—	10,000 (R5)	%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

--

（前年度の成果）

--

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価)  ○	岐阜県における中核図書館として、来館が困難な県民に対し、求める情報を提供するために、デジタルブック（電子書籍）の整備が必要である。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価)	

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 遠方に在住の県民や、高齢者、障がい者等の利用登録を促すために、広報が必要である。
--

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 電子書籍の出版市場の拡大、社会のデジタル化推進の対応として、デジタルブック（電子書籍）の整備が継続して必要である。
--